

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 三重県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	総合医療センター	2
-	こころの医療センター	3
-	一志病院	4
-	志摩病院	5
四日市市	市立四日市病院	6
伊勢市	市立伊勢総合病院	7
松阪市	松阪市民病院	8
桑名市	桑名市民病院	9
名張市	名張市立病院	10
尾鷲市	尾鷲総合病院	11
亀山市	市立医療センター	12
志摩市	国民健康保険 志摩市民病院	13
伊賀市	伊賀市立上野総合市民病院	14
大台町	報徳病院	15
玉城町	国保玉城病院	16
南伊勢町	町立南伊勢病院	17
紀南病院組合	紀南病院	18

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名					
病院名 総合医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)		1,770,254
決算規模(千円)		761,959,474
標準財政規模(千円)		438,548,149
財政力指数		0.60941
経常収支比率(%)		96.3
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.7
	将来負担比率(%)	187.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	120,715			
1 経常収益	120,715			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	120,715			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	120,715			
2 経常費用	120,715			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	59.8
材料費	-	-	25.3	27.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	12.4
減価償却費	-	-	9.5	8.2
経費	-	-	22.7	19.2
(うち委託料)	-	-	12.6	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	120,715			
(うち支払利息)	120,715	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	103.7
医業収支比率	-		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)		
区分	決算額	
資産合計	-	
1 固定資産	-	
(1) 有形固定資産	-	
(2) 無形固定資産	-	
(3) 投資その他の資産	-	
2 流動資産	-	
(1) 現金及び預金	-	
(2) 未収金及び未収収益	-	
(3) 貸倒引当金()	-	
(4) 貯蔵品	-	
3 繰延資産	-	
負債合計	-	
1 固定負債	-	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-	
(2) その他の企業債	-	
(3) 再建債(特例債含む)	-	
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(5) その他の長期借入金	-	
(6) 引当金	-	
(7) リース債務	-	
2 流動負債	-	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	-	
(6) リース債務	-	
(7) 一時借入金	-	
(8) 未払金及び未払費用	-	
(9) 前受金及び前受収益	-	
3 繰延収益	-	
(1) 長期前受金	-	
(2) 長期前受金収益化累計額()	-	
資本合計	-	
1 資本金	-	
2 剰余金	-	
(1) 資本金剰余金	-	
(2) 利益剰余金	-	
負債・資本合計	-	
不良債務	-	
実質資金不足額	-	
資本不足額(繰延収益控除後)()	-	
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	234.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名					
病院名	こころの医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,768 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	2	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	348	64.0	76.0	78.9
感染症	-	-	-	-
計	348	64.0	76.0	78.9
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,770,254	
決算規模(千円)	761,959,474	
標準財政規模(千円)	438,548,149	
財政力指数	0.60941	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.7
	将来負担比率(%)	187.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	57.3
修正医業収益(千円)	1,795,232

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,597,161			
1 経常収益	3,597,161			
(1) 医業収益	2,613,370			
入院収益	1,493,645			
外来収益	280,127			
診療収入計	1,773,772			
その他医業収益	839,598			
(うち他会計負担金)	818,138			
(2) 医業外収益	983,791			
(うち国・都道府県補助金)	23,587			
(うち他会計補助・負担金)	831,223			
(うち長期前受金戻入)	92,973			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,261,456			
2 経常費用	3,261,456			
(1) 医業費用	3,132,781			
職員給与費	2,144,600	82.1	62.1	104.8
材料費	200,608	7.7	25.3	8.7
(うち薬品費)	89,214	3.4	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	39,281	1.5	11.4	1.3
減価償却費	195,714	7.5	9.5	13.5
経費	586,732	22.5	22.7	33.3
(うち委託料)	364,448	13.9	12.6	18.6
研究研修費	3,759			
資産減耗費	1,368			
(2) 医業外費用	128,675			
(うち支払利息)	47,771	1.8	1.3	2.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	335,705			
純損益	335,705			
累積欠損金	2,860,314			
経常収支比率	110.3		101.9	101.4
医業収支比率	83.4		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	45.9		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	63.1		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	45.9		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	59.7		89.3	66.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,781,594
1 固定資産	8,207,577
(1) 有形固定資産	7,934,402
(2) 無形固定資産	2,299
(3) 投資その他の資産	270,876
2 流動資産	1,574,017
(1) 現金及び預金	1,096,087
(2) 未収金及び未収収益	516,582
(3) 貸倒引当金()	49,156
(4) 貯蔵品	6,979
3 繰延資産	-
負債合計	16,877,584
1 固定負債	12,112,083
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,667,030
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,081,418
(5) その他の長期借入金	4,159,174
(6) 引当金	1,204,461
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,267,813
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	702,912
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	183,105
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	366,941
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,497,688
(1) 長期前受金	6,737,355
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,239,667
資本合計	-7,095,990
1 資本金	311,410
2 剰余金	-7,407,400
(1) 資本金剰余金	1,371,553
(2) 利益剰余金	-8,778,953
負債・資本合計	9,781,594
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	7,095,990
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,598,302
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,585,594	1,649,361
資本勘定繰入	266,904	266,904
計	1,852,498	1,916,265

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	234.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				三重県
市町村・組合名				
病院名	一志病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	6,295 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	8	指定病院の状況	救へ	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	46	78.9	80.5	85.5
療養	40	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	86	42.2	43.1	45.7
平均在院日数(一般病床のみ)		20.8	18.0	18.9

設立団体の状況		
人口(人)	1,770,254	
決算規模(千円)	761,959,474	
標準財政規模(千円)	438,548,149	
財政力指数	0.60941	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.7
	将来負担比率(%)	187.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,087,787			
1 経常収益	1,087,787			
(1) 医業収益	754,435			
入院収益	377,193			
外来収益	168,267			
診療収入計	545,460			
その他医業収益	208,975			
(うち他会計負担金)	91,356			
(2) 医業外収益	333,352			
(うち国・都道府県補助金)	23,931			
(うち他会計補助・負担金)	277,720			
(うち長期前受金戻入)	19,010			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	910,064			
2 経常費用	910,064			
(1) 医業費用	885,072			
職員給与費	545,841	72.4	62.1	78.9
材料費	61,057	8.1	25.3	15.6
(うち薬品費)	17,149	2.3	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,408	4.4	11.4	6.0
減価償却費	65,393	8.7	9.5	11.7
経費	210,350	27.9	22.7	31.2
(うち委託料)	102,177	13.5	12.6	14.3
研究研修費	649			
資産減耗費	1,782			
(2) 医業外費用	24,992			
(うち支払利息)	753	0.1	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	177,723			
純損益	177,723			
累積欠損金	308,647			
経常収支比率	119.5		101.9	100.3
医業収支比率	85.2		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	33.9		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	48.9		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	33.9		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	79.0		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,781,594
1 固定資産	8,207,577
(1) 有形固定資産	7,934,402
(2) 無形固定資産	2,299
(3) 投資その他の資産	270,876
2 流動資産	1,574,017
(1) 現金及び預金	1,096,087
(2) 未収金及び未収収益	516,582
(3) 貸倒引当金()	49,156
(4) 貯蔵品	6,979
3 繰延資産	-
負債合計	16,877,584
1 固定負債	12,112,083
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,667,030
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,081,418
(5) その他の長期借入金	4,159,174
(6) 引当金	1,204,461
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,267,813
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	702,912
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当	183,105
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	366,941
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,497,688
(1) 長期前受金	6,737,355
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,239,667
資本合計	-7,095,990
1 資本金	311,410
2 剰余金	-7,407,400
(1) 資本剰余金	1,371,553
(2) 利益剰余金	-8,778,953
負債・資本合計	9,781,594
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	7,095,990
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,598,302
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.9
修正医業収益(千円)	663,079

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	351,779	369,076
資本勘定繰入	42,882	42,882
計	394,661	411,958

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	234.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名					
病院名 志摩病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,325 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	236	42.5	51.2	50.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	72.5	73.4	78.5
感染症	-	-	-	-
計	336	51.4	57.8	59.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.3	14.7	15.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,770,254	
決算規模(千円)	761,959,474	
標準財政規模(千円)	438,548,149	
財政力指数	0.60941	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.7
	将来負担比率(%)	187.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,148,394			
1 経常収益	1,148,394			
(1) 医業収益	383,331			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	383,331			
(うち他会計負担金)	375,792			
(2) 医業外収益	765,063			
(うち国・都道府県補助金)	3,502			
(うち他会計補助・負担金)	464,404			
(うち長期前受金戻入)	135,149			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,220,907			
2 経常費用	1,220,907			
(1) 医業費用	1,152,639			
職員給与費	-	-	62.1	63.5
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	11.8
減価償却費	322,193	84.1	9.5	10.0
経費	827,085	215.8	22.7	21.7
(うち委託料)	6,419	1.7	12.6	12.2
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	3,361	-	-	-
(2) 医業外費用	68,268	-	-	-
(うち支払利息)	46,549	12.1	1.3	1.4
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	-72,513			
純損益	-72,513			
累積欠損金	5,609,992			
経常収支比率	94.1		101.9	101.7
医業収支比率	33.3		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	73.2		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	219.2		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	73.2		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	25.2		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,781,594
1 固定資産	8,207,577
(1) 有形固定資産	7,934,402
(2) 無形固定資産	2,299
(3) 投資その他の資産	270,876
2 流動資産	1,574,017
(1) 現金及び預金	1,096,087
(2) 未収金及び未収収益	516,582
(3) 貸倒引当金()	49,156
(4) 貯蔵品	6,979
3 繰延資産	-
負債合計	16,877,584
1 固定負債	12,112,083
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,667,030
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,081,418
(5) その他の長期借入金	4,159,174
(6) 引当金	1,204,461
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,267,813
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	702,912
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	183,105
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	366,941
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,497,688
(1) 長期前受金	6,737,355
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,239,667
資本合計	-7,095,990
1 資本金	311,410
2 剰余金	-7,407,400
(1) 資本金剰余金	1,371,553
(2) 利益剰余金	-8,778,953
負債・資本合計	9,781,594
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	7,095,990
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,598,302
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.7
修正医業収益(千円)	7,539

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	773,628	840,196
資本勘定繰入	138,421	138,421
計	912,049	978,617

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	234.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名	四日市市				
病院名	市立四日市病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	49,525 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	566	68.9	73.3	76.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	3.8	1.9	-
計	568	68.7	73.1	76.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	10.5	10.4

設立団体の状況		
人口(人)	305,424	
決算規模(千円)	152,741,905	
標準財政規模(千円)	80,608,655	
財政力指数	1.21	
経常収支比率(%)	78.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.3
修正医業収益(千円)	19,571,955

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,787,790			
1 経常収益	21,741,569			
(1) 医業収益	19,696,205			
入院収益	12,492,516			
外来収益	6,728,508			
診療収入計	19,221,024			
その他医業収益	475,181			
(うち他会計負担金)	124,250			
(2) 医業外収益	2,045,364			
(うち国・都道府県補助金)	800,824			
(うち他会計補助・負担金)	582,548			
(うち長期前受金戻入)	441,965			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	46,221			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,135,538			
2 経常費用	22,116,639			
(1) 医業費用	20,984,685			
職員給与費	9,785,187	49.7	62.1	55.8
材料費	6,631,557	33.7	25.3	29.8
(うち薬品費)	3,365,021	17.1	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,264,229	16.6	11.4	13.0
減価償却費	1,450,384	7.4	9.5	8.7
経費	2,997,132	15.2	22.7	19.7
(うち委託料)	2,003,443	10.2	12.6	12.6
研究研修費	40,283			
資産減耗費	80,142			
(2) 医業外費用	1,131,954			
(うち支払利息)	117,863	0.6	1.3	1.2
(3) 特別損失	18,899			
損益				
経常損益	-375,070			
純損益	-347,748			
累積欠損金	1,588,792			
経常収支比率	98.3		101.9	102.5
医業収支比率	93.9		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	3.3		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	3.6		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	3.2		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	95.1		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	30,851,619
1 固定資産	17,251,392
(1) 有形固定資産	16,127,818
(2) 無形固定資産	3,443
(3) 投資その他の資産	1,120,131
2 流動資産	13,600,227
(1) 現金及び預金	9,812,954
(2) 未収金及び未収収益	3,571,061
(3) 貸倒引当金()	28,139
(4) 貯蔵品	244,351
3 繰延資産	-
負債合計	16,122,457
1 固定負債	12,566,861
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,424,865
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,112,445
(7) リース債務	29,551
2 流動負債	3,351,304
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,044,837
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	583,108
(6) リース債務	16,756
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,630,629
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	204,292
(1) 長期前受金	1,902,776
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,698,484
資本合計	14,729,162
1 資本金	16,317,954
2 剰余金	-1,588,792
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,588,792
負債・資本合計	30,851,619
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,052,987	706,798
資本勘定繰入	479,002	479,002
計	1,531,989	1,185,800

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名	伊勢市				
病院名	市立伊勢総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	25,379 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	260	70.4	78.8	64.4
療養	40	82.0	90.6	68.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	72.0	80.4	64.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	11.9	12.6

設立団体の状況		
人口(人)	122,765	
決算規模(千円)	68,604,582	
標準財政規模(千円)	30,607,782	
財政力指数	0.60	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.8
修正医業収益(千円)	6,240,126

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,351,708			
1 経常収益	8,351,708			
(1) 医業収益	6,289,996			
入院収益	3,978,245			
外来収益	1,831,148			
診療収入計	5,809,393			
その他医業収益	480,603			
(うち他会計負担金)	49,870			
(2) 医業外収益	2,061,712			
(うち国・都道府県補助金)	650,729			
(うち他会計補助・負担金)	924,269			
(うち長期前受金戻入)	447,959			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,301,307			
2 経常費用	8,301,307			
(1) 医業費用	7,923,354			
職員給与費	4,243,961	67.5	62.1	63.5
材料費	1,326,187	21.1	25.3	24.9
(うち薬品費)	653,373	10.4	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	670,414	10.7	11.4	11.8
減価償却費	1,013,713	16.1	9.5	10.0
経費	1,303,174	20.7	22.7	21.7
(うち委託料)	1,003,394	16.0	12.6	12.2
研究研修費	35,308			
資産減耗費	1,011			
(2) 医業外費用	377,953			
(うち支払利息)	63,449	1.0	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	50,401			
純損益	50,401			
累積欠損金	2,148,335			
経常収支比率	100.6		101.9	101.7
医業収支比率	79.4		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	11.7		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	15.5		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	11.7		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	88.9		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	19,845,500
1 固定資産	18,051,728
(1) 有形固定資産	17,619,377
(2) 無形固定資産	3,563
(3) 投資その他の資産	428,788
2 流動資産	1,793,772
(1) 現金及び預金	556,043
(2) 未収金及び未収収益	1,218,434
(3) 貸倒引当金()	17,620
(4) 貯蔵品	36,914
3 繰延資産	-
負債合計	16,754,949
1 固定負債	13,401,074
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,830,833
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,570,241
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,732,309
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	708,955
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	245,696
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	775,757
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,621,566
(1) 長期前受金	3,013,364
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,391,798
資本合計	3,090,551
1 資本金	4,254,000
2 剰余金	-1,163,449
(1) 資本剰余金	984,886
(2) 利益剰余金	-2,148,335
負債・資本合計	19,845,500
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	492,530	974,139
資本勘定繰入	408,850	465,370
計	901,380	1,439,509

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	34.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名	松阪市				
病院名	松阪市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透 力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,379 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救 臨 感 へ 災 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7 : 1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一 般	326	78.8	89.1	88.8
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	2	-	-	-
計	328	78.3	88.6	88.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	13.8	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	159,145	
決算規模(千円)	88,512,335	
標準財政規模(千円)	44,172,122	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	80.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.0
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.0
修正医業収益(千円)	9,499,279

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総 収 益	11,968,107			
1 経 常 収 益	11,965,743			
(1) 医 業 収 益	9,508,372			
入 院 収 益	5,480,930			
外 来 収 益	3,869,058			
診 療 収 入 計	9,349,988			
そ の 他 医 業 収 益	158,384			
(うち他会計負担金)	9,093			
(2) 医 業 外 収 益	2,457,371			
(うち国・都道府県補助金)	2,069,530			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	303,740			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	2,364			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	11,253,713			
2 経 常 費 用	10,844,157			
(1) 医 業 費 用	10,101,384			
職 員 給 与 費	4,881,536	51.3	62.1	63.5
材 料 費	3,433,855	36.1	25.3	24.9
(うち薬品費)	2,610,890	27.5	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	735,157	7.7	11.4	11.8
減 価 償 却 費	546,027	5.7	9.5	10.0
経 理 費	1,196,409	12.6	22.7	21.7
(うち委託料)	714,968	7.5	12.6	12.2
研 究 研 修 費	27,037			
資 産 減 耗 費	16,520			
(2) 医 業 外 費 用	742,773			
(うち支払利息)	93,790	1.0	1.3	1.4
(3) 特 別 損 失	409,556			
損 益				
経 常 損 益	1,121,586			
純 損 益	714,394			
累 積 欠 損 金	3,192,186			
経 常 収 支 比 率	110.3		101.9	101.7
医 業 収 支 比 率	94.1		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	0.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	0.1		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	0.1		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	110.3		89.3	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資 産 合 計	12,026,102
1 固 定 資 産	6,805,930
(1) 有 形 固 定 資 産	6,557,632
(2) 無 形 固 定 資 産	52,458
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	195,840
2 流 動 資 産	5,220,172
(1) 現 金 及 び 預 金	2,747,811
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	2,307,666
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	5,352
(4) 貯 蔵 品	161,289
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	9,261,630
1 固 定 負 債	4,064,194
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,406,975
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	1,634,470
(7) リ ー ス 債 務	22,749
2 流 動 負 債	2,276,844
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	839,251
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	234,605
(6) リ ー ス 債 務	16,331
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	1,159,686
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	2,920,592
(1) 長 期 前 受 金	7,182,930
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	4,262,338
資 本 合 計	2,764,472
1 資 本 金	5,937,816
2 剰 余 金	-3,173,344
(1) 資 本 剰 余 金	18,842
(2) 利 益 剰 余 金	-3,192,186
負 債 ・ 資 本 合 計	12,026,102
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	-
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	464,358	9,093
資本勘定繰入	548,003	548,003
計	1,012,361	557,096

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		三重県	
市町村・組合名	桑名市		
病院名	桑名市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	138,613	
決算規模(千円)	71,861,236	
標準財政規模(千円)	31,049,103	
財政力指数	0.84	
経常収支比率(%)	90.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	57.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	192			
1 経常収益	192			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	192			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	192			
2 経常費用	192			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	-	-	9.5	10.2
経費	-	-	22.7	28.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	192			
(うち支払利息)	192	-	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	99.9
医業収支比率	-		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	86.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名	名張市				
病院名	名張市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	18,102 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	9	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	200	68.3	77.0	78.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	200	68.3	77.0	78.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	13.1	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	76,387	
決算規模(千円)	37,038,792	
標準財政規模(千円)	16,498,548	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	100.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.0
	将来負担比率(%)	179.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,413,196			
1 経常収益	5,183,144			
(1) 医業収益	3,870,447			
入院収益	2,728,635			
外来収益	869,370			
診療収入計	3,598,005			
その他医業収益	272,442			
(うち他会計負担金)	186,064			
(2) 医業外収益	1,312,697			
(うち国・都道府県補助金)	860,933			
(うち他会計補助・負担金)	337,010			
(うち長期前受金戻入)	41,258			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	230,052			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,175,914			
2 経常費用	4,969,573			
(1) 医業費用	4,495,585			
職員給与費	2,704,547	69.9	62.1	66.1
材料費	713,811	18.4	25.3	19.8
(うち薬品費)	183,666	4.7	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	530,145	13.7	11.4	9.3
減価償却費	271,600	7.0	9.5	10.2
経費	796,422	20.6	22.7	28.2
(うち委託料)	522,902	13.5	12.6	13.6
研究研修費	6,779			
資産減耗費	2,426			
(2) 医業外費用	473,988			
(うち支払利息)	104,595	2.7	1.3	1.6
(3) 特別損失	206,341			
損益				
経常損益	213,571			
純損益	237,282			
累積欠損金	9,174,642			
経常収支比率	104.3		101.9	99.9
医業収支比率	86.1		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	10.1		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.5		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	9.7		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	93.8		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,633,556
1 固定資産	5,564,458
(1) 有形固定資産	5,561,678
(2) 無形固定資産	2,780
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,069,098
(1) 現金及び預金	49,393
(2) 未収金及び未収収益	894,648
(3) 貸倒引当金()	8,536
(4) 貯蔵品	37,581
3 繰延資産	-
負債合計	6,204,703
1 固定負債	4,131,274
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,023,967
(2) その他の企業債	99,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	150,000
(6) 引当金	856,873
(7) リース債務	1,434
2 流動負債	1,663,098
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	762,180
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	161,610
(6) リース債務	2,151
(7) 一時借入金	330,000
(8) 未払金及び未払費用	392,358
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	410,331
(1) 長期前受金	2,350,375
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,940,044
資本合計	428,853
1 資本金	8,793,121
2 剰余金	-8,364,268
(1) 資本金剰余金	810,374
(2) 利益剰余金	-9,174,642
負債・資本合計	6,633,556
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.0
修正医業収益(千円)	3,684,383

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	810,145	523,074
資本勘定繰入	419,761	483,209
計	1,229,906	1,006,283

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	261,628	6.1
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	237.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名	尾鷲市				
病院名	尾鷲総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透 未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	19,802 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	199	53.2	73.0	76.0
療養	56	65.8	63.5	53.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	255	56.0	70.9	70.9
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	17.3	18.4

設立団体の状況		
人口(人)	16,252	
決算規模(千円)	13,127,020	
標準財政規模(千円)	6,032,176	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	98.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	38.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.8
修正医業収益(千円)	3,327,369

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,472,042			
1 経常収益	4,465,715			
(1) 医業収益	3,356,646			
入院収益	1,900,521			
外来収益	1,306,963			
診療収入計	3,207,484			
その他医業収益	149,162			
(うち他会計負担金)	29,277			
(2) 医業外収益	1,109,069			
(うち国・都道府県補助金)	646,838			
(うち他会計補助・負担金)	195,893			
(うち長期前受金戻入)	202,720			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,327			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,953,770			
2 経常費用	3,941,770			
(1) 医業費用	3,746,866			
職員給与費	2,219,174	66.1	62.1	66.1
材料費	666,748	19.9	25.3	19.8
(うち薬品費)	320,327	9.5	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	342,568	10.2	11.4	9.3
減価償却費	182,025	5.4	9.5	10.2
経費	664,305	19.8	22.7	28.2
(うち委託料)	327,089	9.7	12.6	13.6
研究研修費	4,235			
資産減耗費	10,379			
(2) 医業外費用	194,904			
(うち支払利息)	49,799	1.5	1.3	1.6
(3) 特別損失	12,000			
損益				
経常損益	523,945			
純損益	518,272			
累積欠損金	2,348,849			
経常収支比率	113.3		101.9	99.9
医業収支比率	89.6		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	5.0		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.7		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	5.0		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	107.6		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,713,180
1 固定資産	2,846,064
(1) 有形固定資産	2,836,432
(2) 無形固定資産	3,279
(3) 投資その他の資産	6,353
2 流動資産	867,116
(1) 現金及び預金	33,217
(2) 未収金及び未収収益	800,014
(3) 貸倒引当金()	4,595
(4) 貯蔵品	38,480
3 繰延資産	-
負債合計	3,035,325
1 固定負債	1,994,695
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,510,125
(2) その他の企業債	42,087
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	442,483
(7) リース債務	-
2 流動負債	810,407
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	343,486
(2) その他の企業債	5,632
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	129,748
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	140,000
(8) 未払金及び未払費用	172,196
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	230,223
(1) 長期前受金	3,835,060
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,604,837
資本合計	677,855
1 資本金	200,856
2 剰余金	476,999
(1) 資本金剰余金	2,825,848
(2) 利益剰余金	-2,348,849
負債・資本合計	3,713,180
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	228,670	225,170
資本勘定繰入	199,830	199,830
計	428,500	425,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	54,869	1.4
平成30年度	125,662	3.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	70.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名		亀山市			
病院名		市立医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,980 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	90	62.5	70.4	70.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	62.5	70.4	70.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	17.2	17.8

設立団体の状況		
人口(人)	49,835	
決算規模(千円)	26,656,111	
標準財政規模(千円)	13,297,126	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	85.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,726,937			
1 経常収益	1,726,937			
(1) 医業収益	1,431,730			
入院収益	803,608			
外来収益	504,446			
診療収入計	1,308,054			
その他医業収益	123,676			
(うち他会計負担金)	34,028			
(2) 医業外収益	295,207			
(うち国・都道府県補助金)	150,143			
(うち他会計補助・負担金)	134,052			
(うち長期前受金戻入)	2,634			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,726,937			
2 経常費用	1,723,560			
(1) 医業費用	1,649,390			
職員給与費	931,482	65.1	62.1	78.9
材料費	214,781	15.0	25.3	15.6
(うち薬品費)	81,445	5.7	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	131,868	9.2	11.4	6.0
減価償却費	125,055	8.7	9.5	11.7
経費	370,307	25.9	22.7	31.2
(うち委託料)	247,625	17.3	12.6	14.3
研究研修費	931			
資産減耗費	6,834			
(2) 医業外費用	74,170			
(うち支払利息)	160	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	3,377			
損益	3,377			
純損益	-			
累積欠損金	1,283,883			
経常収支比率	100.2		101.9	100.3
医業収支比率	86.8		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.7		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	11.7		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	9.7		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	90.4		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,967,078
1 固定資産	2,287,196
(1) 有形固定資産	2,236,723
(2) 無形固定資産	940
(3) 投資その他の資産	49,533
2 流動資産	679,882
(1) 現金及び預金	370,618
(2) 未収金及び未収収益	304,715
(3) 貸倒引当金()	929
(4) 貯蔵品	5,478
3 繰延資産	-
負債合計	555,484
1 固定負債	271,502
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	245,662
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	23,410
(7) リース債務	2,430
2 流動負債	265,263
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,359
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	61,064
(6) リース債務	1,167
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	151,613
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	18,719
(1) 長期前受金	30,463
(2) 長期前受金収益化累計額()	11,744
資本合計	2,411,594
1 資本金	3,677,699
2 剰余金	-1,266,105
(1) 資本金剰余金	17,778
(2) 利益剰余金	-1,283,883
負債・資本合計	2,967,078
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.7
修正医業収益(千円)	1,397,702

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	186,358	168,080
資本勘定繰入	4,839	9,040
計	191,197	177,120

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	89.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名	志摩市				
病院名	国民健康保険 志摩市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,358 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	17	-	-	-
療養	60	97.0	94.6	85.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	77	75.6	73.7	66.3
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	46,057	
決算規模(千円)	30,939,085	
標準財政規模(千円)	16,684,506	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	101.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	37.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,270,839			
1 経常収益	1,270,839			
(1) 医業収益	964,764			
入院収益	583,663			
外来収益	316,280			
診療収入計	899,943			
その他医業収益	64,821			
(うち他会計負担金)	40,729			
(2) 医業外収益	306,075			
(うち国・都道府県補助金)	13,157			
(うち他会計補助・負担金)	215,752			
(うち長期前受金戻入)	72,274			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,290,882			
2 経常費用	1,290,607			
(1) 医業費用	1,242,143			
職員給与費	816,529	84.6	62.1	78.9
材料費	110,304	11.4	25.3	15.6
(うち薬品費)	62,333	6.5	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	47,971	5.0	11.4	6.0
減価償却費	90,286	9.4	9.5	11.7
経費	222,255	23.0	22.7	31.2
(うち委託料)	140,903	14.6	12.6	14.3
研究研修費	854			
資産減耗費	1,915			
(2) 医業外費用	48,464			
(うち支払利息)	16,931	1.8	1.3	1.7
(3) 特別損失	275			
損益				
経常損益	-19,768			
純損益	-20,043			
累積欠損金	698,083			
経常収支比率	98.5		101.9	100.3
医業収支比率	77.7		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	20.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	26.6		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	20.2		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	78.6		89.3	76.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,640,695
1 固定資産	1,440,360
(1) 有形固定資産	1,438,538
(2) 無形固定資産	1,822
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	200,335
(1) 現金及び預金	33,201
(2) 未収金及び未収収益	180,039
(3) 貸倒引当金()	15,127
(4) 貯蔵品	2,222
3 繰延資産	-
負債合計	1,734,653
1 固定負債	720,258
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	720,258
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	192,739
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	85,961
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	51,358
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	51,920
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	821,656
(1) 長期前受金	1,573,702
(2) 長期前受金収益化累計額()	752,046
資本合計	-93,958
1 資本金	350,796
2 剰余金	-444,754
(1) 資本金剰余金	253,329
(2) 利益剰余金	-698,083
負債・資本合計	1,640,695
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	93,958
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.4
修正医業収益(千円)	924,035

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	258,596	256,481
資本勘定繰入	71,076	86,387
計	329,672	342,868

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	72.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名	伊賀市				
病院名	伊賀市立上野総合市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	15,528 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	241	56.3	65.0	70.6
療養	40	89.0	98.8	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	281	61.0	69.8	70.6
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	18.2	20.5

設立団体の状況		
人口(人)	88,766	
決算規模(千円)	54,080,937	
標準財政規模(千円)	27,597,469	
財政力指数	0.64	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	68.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.8
修正医業収益(千円)	3,825,144

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,674,634			
1 経常収益	4,604,727			
(1) 医業収益	4,032,536			
入院収益	2,674,086			
外来収益	924,590			
診療収入計	3,598,676			
その他医業収益	433,860			
(うち他会計負担金)	207,392			
(2) 医業外収益	572,191			
(うち国・都道府県補助金)	318,514			
(うち他会計補助・負担金)	132,566			
(うち長期前受金戻入)	73,633			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	69,907			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,453,217			
2 経常費用	4,430,143			
(1) 医業費用	4,168,715			
職員給与費	2,260,508	56.1	62.1	66.1
材料費	708,709	17.6	25.3	19.8
(うち薬品費)	279,093	6.9	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	428,003	10.6	11.4	9.3
減価償却費	208,061	5.2	9.5	10.2
経費	959,861	23.8	22.7	28.2
(うち委託料)	472,063	11.7	12.6	13.6
研究研修費	3,602			
資産減耗費	27,974			
(2) 医業外費用	261,428			
(うち支払利息)	18,487	0.5	1.3	1.6
(3) 特別損失	23,074			
損益				
経常損益	174,584			
純損益	221,417			
累積欠損金	415,382			
経常収支比率	103.9		101.9	99.9
医業収支比率	96.7		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.4		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.4		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	7.3		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	96.3		89.3	86.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,609,585
1 固定資産	2,761,038
(1) 有形固定資産	2,758,651
(2) 無形固定資産	1,656
(3) 投資その他の資産	731
2 流動資産	1,848,547
(1) 現金及び預金	1,183,023
(2) 未収金及び未収収益	661,535
(3) 貸倒引当金()	1,511
(4) 貯蔵品	5,500
3 繰延資産	-
負債合計	3,760,788
1 固定負債	2,698,403
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,566,229
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	465,000
(6) 引当金	667,174
(7) リース債務	-
2 流動負債	865,074
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	287,468
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	20,000
(5) 引当金	157,388
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	399,218
(9) 前受金及び前受収益	1,000
3 繰延収益	197,311
(1) 長期前受金	3,735,167
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,537,856
資本合計	848,797
1 資本金	168,333
2 剰余金	680,464
(1) 資本剰余金	1,085,633
(2) 利益剰余金	-405,169
負債・資本合計	4,609,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	339,958	339,958
資本勘定繰入	121,920	121,920
計	461,878	461,878

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		三重県	
市町村・組合名	大台町		
病院名	報徳病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	8,668	
決算規模(千円)	8,144,253	
標準財政規模(千円)	4,924,593	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	89.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	28.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	1,102			
1 経常収益	1,102			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,102			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,102			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,102			
2 経常費用	1,102			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	-	-	9.5	13.0
経費	-	-	22.7	47.1
(うち委託料)	-	-	12.6	22.5
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	1,102			
(うち支払利息)	1,102	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	98.5
医業収支比率	-		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	-		89.3	64.4

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	690	1,102
資本勘定繰入	5,290	8,777
計	5,980	9,879

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				三重県
市町村・組合名	玉城町			
病院名	国保玉城病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	3,964 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	7	指定病院の状況		
許可公営企業		看護配置	20:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	50	98.2	98.6	99.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	98.2	98.6	99.4
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	15,041	
決算規模(千円)	8,145,296	
標準財政規模(千円)	4,389,865	
財政力指数	0.60	
経常収支比率(%)	74.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	44.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	749,524			
1 経常収益	723,542			
(1) 医業収益	632,787			
入院収益	432,456			
外来収益	139,842			
診療収入計	572,298			
その他医業収益	60,489			
(うち他会計負担金)	8,273			
(2) 医業外収益	90,755			
(うち国・都道府県補助金)	2,829			
(うち他会計補助・負担金)	76,183			
(うち長期前受金戻入)	6,618			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	25,982			
(うち他会計繰入金)	25,982			
総費用	724,223			
2 経常費用	719,223			
(1) 医業費用	686,072			
職員給与費	389,756	61.6	62.1	78.9
材料費	63,402	10.0	25.3	15.6
(うち薬品費)	17,955	2.8	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,849	5.3	11.4	6.0
減価償却費	40,782	6.4	9.5	11.7
経費	191,803	30.3	22.7	31.2
(うち委託料)	148,125	23.4	12.6	14.3
研究研修費	329			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	33,151			
(うち支払利息)	9,954	1.6	1.3	1.7
(3) 特別損失	5,000			
損益				
経常損益	4,319			
純損益	25,301			
累積欠損金	31,656			
経常収支比率	100.6		101.9	100.3
医業収支比率	92.2		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	11.7		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	13.3		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	14.7		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	88.9		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,306,332
1 固定資産	745,409
(1) 有形固定資産	729,620
(2) 無形固定資産	676
(3) 投資その他の資産	15,113
2 流動資産	558,767
(1) 現金及び預金	451,008
(2) 未収金及び未収収益	106,524
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,235
3 繰延資産	2,156
負債合計	741,129
1 固定負債	465,219
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	439,112
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	26,107
(7) リース債務	-
2 流動負債	117,303
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	46,295
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	24,336
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	47,316
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	158,607
(1) 長期前受金	251,172
(2) 長期前受金収益化累計額()	92,565
資本合計	565,203
1 資本金	15,863
2 剰余金	549,340
(1) 資本金剰余金	550,996
(2) 利益剰余金	-1,656
負債・資本合計	1,306,332
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.0
修正医業収益(千円)	624,514

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	73,080	110,438
資本勘定繰入	36,300	46,836
計	109,380	157,274

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				三重県
市町村・組合名	南伊勢町			
病院名	町立南伊勢病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	4,375 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	7	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	13:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	50	77.8	76.0	75.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	77.8	76.0	49.6
平均在院日数(一般病床のみ)		21.9	23.3	27.4

設立団体の状況		
人口(人)	10,989	
決算規模(千円)	11,441,877	
標準財政規模(千円)	6,044,387	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	69.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.6
修正医業収益(千円)	696,311

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,011,619			
1 経常収益	1,006,319			
(1) 医業収益	766,311			
入院収益	325,477			
外来収益	325,526			
診療収入計	651,003			
その他医業収益	115,308			
(うち他会計負担金)	70,000			
(2) 医業外収益	240,008			
(うち国・都道府県補助金)	13,046			
(うち他会計補助・負担金)	196,533			
(うち長期前受金戻入)	2,143			
(うち資本費繰入収益)	18,401			
(3) 特別利益	5,300			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,041,450			
2 経常費用	1,035,905			
(1) 医業費用	1,014,579			
職員給与費	667,768	87.1	62.1	78.9
材料費	72,712	9.5	25.3	15.6
(うち薬品費)	36,306	4.7	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	36,406	4.8	11.4	6.0
減価償却費	101,056	13.2	9.5	11.7
経費	172,252	22.5	22.7	31.2
(うち委託料)	125,642	16.4	12.6	14.3
研究研修費	791			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	21,326			
(うち支払利息)	5,254	0.7	1.3	1.7
(3) 特別損失	5,545			
損益				
経常損益	-29,586			
純損益	-29,831			
累積欠損金	217,191			
経常収支比率	97.1		101.9	100.3
医業収支比率	75.5		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	26.5		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	34.8		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	26.3		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	71.4		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,438,237
1 固定資産	2,203,262
(1) 有形固定資産	2,203,262
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	234,975
(1) 現金及び預金	159,577
(2) 未収金及び未収収益	65,372
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	9,678
3 繰延資産	-
負債合計	2,567,660
1 固定負債	2,368,732
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,368,732
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	144,498
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,928
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,459
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	32,473
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	54,430
(1) 長期前受金	74,078
(2) 長期前受金収益化累計額()	19,648
資本合計	-129,423
1 資本金	9,110
2 剰余金	-138,533
(1) 資本金剰余金	78,658
(2) 利益剰余金	-217,191
負債・資本合計	2,438,237
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	129,423
資本不足額(繰延収益控除後)()	74,993
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	266,533	266,533
資本勘定繰入	22,309	22,309
計	288,842	288,842

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名	紀南病院組合				
病院名	紀南病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	22,675 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	200	58.0	71.8	85.0
療養	40	70.5	76.9	79.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	11.8	-	-
計	244	59.3	71.4	82.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.8	14.8	16.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.0
修正医業収益(千円)	3,097,875

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,405,644			
1 経常収益	5,404,039			
(1) 医業収益	3,193,807			
入院収益	2,052,272			
外来収益	950,332			
診療収入計	3,002,604			
その他医業収益	191,203			
(うち他会計負担金)	95,932			
(2) 医業外収益	2,210,232			
(うち国・都道府県補助金)	1,227,197			
(うち他会計補助・負担金)	153,556			
(うち長期前受金戻入)	218,496			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,605			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,879,693			
2 経常費用	4,879,693			
(1) 医業費用	4,132,426			
職員給与費	2,437,133	76.3	62.1	66.1
材料費	559,124	17.5	25.3	19.8
(うち薬品費)	240,365	7.5	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	306,675	9.6	11.4	9.3
減価償却費	301,779	9.4	9.5	10.2
経費	766,139	24.0	22.7	28.2
(うち委託料)	328,481	10.3	12.6	13.6
研究研修費	6,330			
資産減耗費	61,921			
(2) 医業外費用	747,267			
(うち支払利息)	35,517	1.1	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	524,346			
純損益	525,951			
累積欠損金	-			
経常収支比率	110.7		101.9	99.9
医業収支比率	77.3		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	4.6		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.8		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	4.6		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	105.6		89.3	86.6

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,927,915
1 固定資産	6,332,065
(1) 有形固定資産	6,105,142
(2) 無形固定資産	547
(3) 投資その他の資産	226,376
2 流動資産	2,595,850
(1) 現金及び預金	1,644,255
(2) 未収金及び未収収益	954,664
(3) 貸倒引当金()	10,181
(4) 貯蔵品	7,112
3 繰延資産	-
負債合計	6,186,088
1 固定負債	3,355,340
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,355,340
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,066,060
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	304,942
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	176,057
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	561,709
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,764,688
(1) 長期前受金	5,153,832
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,389,144
資本合計	2,741,827
1 資本金	906,775
2 剰余金	1,835,052
(1) 資本剰余金	136,231
(2) 利益剰余金	1,698,821
負債・資本合計	8,927,915
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	309,165	249,488
資本勘定繰入	165,105	145,594
計	474,270	395,082

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。